

日常生活でも使えるナッジ(仕掛け学)入門

最近話題のナッジ理論。家庭生活でも使えます！

講座内容	ちょっとした工夫や仕掛けで人々の行動変革を促し、社会の課題を解決しようとするナッジ理論。実は、家庭でも簡単に応用できます。「お父さんの塩分摂取をどうにかしたい」「子どもにもっと本を読ませたい」「家庭での食品ロスを減らしたい」などの課題はありませんか。それらはみんな行動経済学を知ると解決に向けたアイデアが出せます。「行動経済学なんか難しくてわからない」という人にも楽しく学べます。		
期間	6月7日～6月28日	受講料	10,000円
曜日	土曜日	定員	20名
時間	13:30～15:30	会場	横浜・関内キャンパス
回数	全4回	持ち物	筆記用具、参考図書、パソコン(できれば)
教材	参考図書 『行動経済学の使い方』 出版社:岩波新書 著者:大竹文雄 定価:820円(+税)		
備考	テーマを決めてグループワークをします。最終回はグループごとに発表(プレゼンテーション)をして頂きます。 一人で学ぶよりもここで知り合った仲間とともに勉強するスタイルにします。		

講座スケジュール

回数	日程	内容
1	6月 7日 (土)	ナッジとは何か。どんな事例があるのか。行動経済学とは何か ナッジの定義と仕組み、行動経済学とは何かを事例を示してみなさんに理解して頂きます。次回までに受講生に街中にあるナッジを見つけてくる宿題を出します。
2	6月14日 (土)	宿題の発表と、グループディスカッション、テーマ決めとグループ分け 街中にあるナッジの事例を受講生でディスカッションします。その後、日常生活で使えるナッジテーマを決めて、グループごとにアイデアを出し合います(例えば「健康」「教育」「環境」「食品ロス」等)
3	6月21日 (土)	発表資料(プレゼンテーション)の作成 プレゼンテーション資料(パワポ推奨)の作成支援とプレゼンテーションの練習をします。
4	6月28日 (土)	みんなの前でグループによる発表 1グループ10分のプレゼンテーション。他のグループや受講生からの意見、講師からの講評

講師紹介

Peatix講座へのアクセスはこちら



高橋 恒夫(たかはし つねお)

社会構想大学院大学 客員准教授、REGIONAT 代表

1961年長野市生まれ。2019年八十二銀行(長野経済研究所)在勤中に事業構想大学院大学に入学。2021年修了後(専門職修士)、長野市で地域活性コンサルタントとしてREGIONAT 起業。2022年、彩の国さいたま人づくり連合において「ナッジ理論を活用した政策策定」研修講師、2023年より茨城県筑西市で若手職員向けに「ナッジを使った政策形成研修」講師

※この講座はPeatix (ピーティックス)からもお申込みいただけます。